

町会・自治会について

1 町会・自治会とは

練馬区内の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成され、特定分野の活動ではなく、地域住民の交流、防犯・防火・防災などの地域の安全を守る活動、環境美化活動等、広く地域社会の形成、維持および発展に資する地域的な共同活動を行う団体です。



2 町会・自治会の取り組み

● 親睦を深める事業

お祭り、盆踊り、もちつき大会の実施など、住民同士の交流・親睦を深める活動を行っています。

● 災害に備える取り組み

“いざ”という時に備えて、初期消火や安否確認等の防災訓練を実施するなど、日頃から災害に備える活動を行っています。

● 安心・安全な地域づくり

防犯パトロール、子どもの登下校時の見守りや高齢者への声掛けなど、地域の安全・安心を守る活動を行っています。

● 情報の周知活動

行政情報や地域の情報等をいち早く入手し、掲示板や回覧板により情報を周知する活動を行っています。

● 清掃・美化・リサイクル活動

地域の清掃や資源回収など、地域の衛生・美観を保ち、リサイクルを推進するための活動を行っています。

● 青少年の健全育成

子ども向けの行事やラジオ体操など、子どもたちの社会性や豊かな心を育てる活動を行っています。



※活動内容は、町会・自治会によって異なります。
※詳しい内容については、各町会・自治会にお問い合わせください。

地域で活動されている皆さん、住みよい地域づくりのために、
ともに考え、一緒に行動しませんか？

【問い合わせ】地域文化部 地域振興課 地域コミュニティ支援係
TEL: 03-5984-1039 (直通) FAX: 03-3557-1351

練馬区立区民協働交流センター

練馬1-17-1 ココネリ3階 TEL: 03-6757-2025 年中無休 9時～22時 (12/29～1/3は休業)



https://www.facebook.com/Nerimakodokoryucenter/

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター ツイッター 検索

ホームページ

http://www.nerima-kyodo.com/

練馬区立区民協働交流センター 検索

★音声でお読みください

ご存知でしたか？ 練馬区立区民協働交流センター発行「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。
NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松 2-16-12 TEL: 03-3577-5666



【特別号】町会特集

町会長にお話を伺いました！
…………… 1・2・3面
町会・自治会について …………… 4面

特別号 町会長にお話を伺いました！

練馬区町会連合会
(西大泉連合町会)
会長 加藤 政春



私は43歳の時、当時の西大泉町会に加入しました。これまで36年間、町会活動に携わり、練馬区町会連合会会長、東京都町会連合会副会長の職も拝命しています。加入当時は、学校長や消防署職員、民間企業などを退職された方のほとんどが、町会役員に誘われるまま就任するなど、地域における協働、

共助の意識が自然と成立していたように記憶しています。

最近働き方も多様化・複雑化し、社会参加する女性も増え、日中、ご自宅にいないことも多いせいか、町会に加入しない方が増えていきます。さらに、この区域は農地が多いこともあり、徐々に宅地への転用が進み、現在も転入者が増え続けています。

こうなると加入率は少しずつ下がります。加入率の低下は、防災活動をはじめ、高齢者や子どもの見守りなど地域最大のセーフティネットワークの機能の低下にもつながります。

そのため、転入された方がいると、1週間以内に加入案内に出向くようにしています。1か月もする

と、ほぼ加入しなくなることが分かっているからです。案内をすることで、毎年30人くらいの方に加入いただいています。

しかし、今のままでは安全・安心な地域社会を維持することはできません。これまでも学校や警察署、消防署などの公的機関やPTAなどと連携し、地域住民の安全・安心の確保に全力で取り組んできましたが、今後、地域社会では認知症高齢者、外国人対応をはじめ、予期できない様々な問題も発生することが予想されます。安全・安心な地域社会を持続させていくためには、同じ地域課題の解決に当たっている個人やNPO等との連携も必要です。

これまでご紹介してきた町会・自治会の実態とこれからの地域社会のあるべき方向性については、区内のどこの団体にも当てはまるものと思います。地域活動をされている皆様、これから活動を始めようとしている皆様、私たち町会・自治会と、誰もが住みよい安全・安心な地域社会のあり方について共に考え、取り組んでいきませんか。



年に1回、練馬植樹推進会和協力し、区から供給された苗木を地域住民に配布している様子



加入を案内した時の様子

地域活動に関する相談を受け付けています

■ 区民協働交流センターの窓口では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

受付時間：9時～22時
年中無休(12/29～1/3を除く)

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること

専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。

相談希望は区民協働交流センターへ(4面参照)

特別号 町会長に お話を伺いました!

光が丘地区連合協議会 会長 高橋 司郎



光が丘地区連合協議会(略称:光連協)活動の日々

1968年、グラントハイツ跡地一帯を光が丘1番地と命名。1983年に住居表示変更で1~7丁目誕生し、同時に公園南、ゆりのき通り北、都営第一で入居開始。

1986年、加盟15団体で光連協を設立して活動を始め、現在は管理組合部会、自治会部会、防災組織部会と3つの部門に分かれ、加盟団体は59団体、世帯数は11,000世帯を超えています。

高齢者の交流・外出を促す一助として、おしゃべりを楽しむ目的で「きずなサロン」、認知症予防を目的に英会話教室と称する「イングリッシュサロン」、健康管理の一助に「グランドゴルフ」や「ポッチャ」、他のNPOと連携・協

働して「多世代交流プレーパーク」(NPO法人PLAYTANK)や無償学習塾(NPO法人さつきファミリー)を展開しています。

また、練馬区の委託事業として、光が丘地域の5つの区立公園の清掃管理を60名を超えるスタッフで毎日活動しています。(日曜・年末年始を除く)

それぞれのNPOの持つ経験と知識は、私どもの団体に足りないもので、正に「専門店」と言っても過言ではありません。私どもが持つ人の動員力、NPOの持つ専門的知識・経験との結びつきは、地域活性化の核となりつつあります。

今一番の関心事は新型コロナウイルスですが、収束には数年必要でしょう。その結果として個人・団体そして社会生活は大きく変化することになるでしょう。その間、少子・高齢化は一段と進み、さらには自然災害による被害も想定されます。不確実な時代の到来に備える手段、それはいわゆる町会組織とNPOとの協働です。日頃から、お互いに相手のことを知り、交流を深めて行くことが大切です。



年齢・性別にかかわらず、誰でも楽しめるポッチャ。毎週月曜午後に行われているポッチャ健康クラブは人気

NPO法人PLAYTANKと協力し、光が丘の夏の雲公園で毎月行っている「多世代交流プレーパーク」



豊玉西町会 会長 川端 法子



私は新宿区矢来町で生まれ、中学生の時に練馬に越してきて62年が経ちました。

新宿区では近くに広場がなく、道路を交通止めにして開催していた盆踊りやお祭りが懐かしい思い出です。豊玉で生まれた子ども達にはここが故郷になるわけですから、良い思い出が残るよう町会活動をしています。

私が町会に関わったきっかけは、3人の子どものPTA役員になり、地域や公のお役を受けて知り合った方のお誘いでした。

豊玉は6町会が氷川神社に集まり、お祭りの相談や町会の情報交換をしています。お祭りでは6町会の神輿が揃う「連合渡御」は壮観です。6年前に町会長になり、その相談会に参加する

ようになりました。1町会10名ずつ計60名が集まる中、女性は私1人ということにびっくり。何十年もこの体制を気にせずに来た、この地域の旧(ふる)さを感じました。

町会連合会でも女性が会長の町会はいくつかありますが、まだ持続可能な社会(SDGs)の意識は少ないようで、誰もが参加したいと思えるように変えなければいけません。

私の経験では、町会長はPTA会長など若い人達と関わる経験があると、若い人を理解し受け入れやすいようです。

現役世代は「仕事が忙しく、手伝いたいけど役員はまだ無理」という方も多いので、豊玉西町会では「サポートチーム」を作り、できる時だけ参加するという方もいます。将来、期待の役員候補です。

町会は、役所、学校、警察、消防ともつながっています。まずはご近所のつながりが大切です。最近「近助」という言葉を聞きます。まさに町会のつながりです。今後も近所が顔見知り、多世代がつながる、住みよい街づくりを心がけたいです。



豊玉小学校での4年生総合授業「地域の方はどんな活動をしているかな」の1コマ

児童の下校時に合わせて、月2回行っている防犯パトロールの様子



関町南北町会 会長 野口 渉



関町南北町会は、練馬区南西端で都内西端武蔵関駅の南、関町北2丁目と、西東京市と武蔵野市に面した関町南4丁目からなり、区域端より南約400mに武蔵野市役所があります。吉祥寺駅・三鷹駅まで歩いて30分ほどです。

かつての町会活動は親睦や美化活動を中心としてきましたが、2011年の東日本大震災をきっかけに、地域住民からの要請もあり、町会とは別組織の防災会を、地域にきめ細かく対応するため3つに分割して設立しました。防災会では、地域に居住する全ての人を対象に、発災時の安否確認と初期消火を目指しています。2016年、防災力強化のため、関係団体の連携が不可欠と考え、町会長が広くゆるやかな連携を

呼びかけ、「関町防災ネットワーク」を立ち上げました。

2019年には、町会と同町内の3防災会、都営練馬関町南4丁目第2アパート自治会防災会、関町北3丁目町会・同防災会および関町小学校避難拠点運営連絡会、慈雲堂病院の9団体に加えて、関保健相談所、関町特別養護老人ホーム、関町ボランティア・地域福祉推進コーナーなどの団体が新たに加わり、さらに練馬区と石神井消防署の協賛を得て、合計14団体の連携体制に成長しました。協働事業として、防災体験学習会を年1回実施しています。東京女子学院のボランティア部の学生さんや東京土建練馬支部の「まちの救助隊」の皆さんも参加しています。

関町小学校体育館・校庭で、災害時に役立ついろいろな工夫や、応急手当、凸凹道の車椅子の操作などを学習しました。東京消防庁からは、はしご車に加え、ヴァーチャルリアリティで地震体験ができる特別車が来て、若い参加者に好評でした。

今後も広く防災活動を展開するため地域の団体と連携を図っていきます。



慈雲堂病院の医師による風呂敷を使った応急処置訓練

関町特別養老老人ホーム職員を対象とした「段ボールトイレ」の制作訓練の様子

